

もしも、ぷよぷよ！！  
にアイツらが出ていたら

アヤ・ノア

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので  
す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を  
超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

『ぶよぶよ!! Puyoopuyo 20th anniversary』に登場してい  
ない、

あのキャラクターやこのキャラクターがもしも登場していたら……。

そんな漫才デモを記した短編集です。

ちなみに、他所でも掲載しております。

# 目 次

もしも「タルタル」が出ていたら

1

もしも「ほほうどり」が出ていたら

31

もしも「ゴゴット」が出ていたら

14



もしも「タルタル」が出ていたら

（第1話 VS どんぐりガエル）

ぶよ勝負前：

タルタル「ンーフフーフフーン♪」

???「ケロツ？」

どんぐりガエル「ケーロケロロン」

タルタル「あ、どんぐりガエルなんだなあ」

どんぐりガエル「ケロリーン♪」

タルタル「おまえ、可愛いんだなあ。あの子に渡す、プレゼントにしたいんだなあ」

どんぐりガエル「ケロツ!? ケーロロロロロ！」

タルタル「あ、ちょっと待つんだなあ！」

どんぐりガエル「ケロケロ、ケロケロケロケロー！」

タルタル「待たないんなら、ぶよ勝負なんだなあ！」

タルタル勝利：

タルタル「おっしゃー！ オイもやればできるんだなあ」

## 2 もしも「タルタル」が出ていたら

どんぐりガエル勝利：

どんぐりガエル「ケローッ！ ケロロー！ ケロリーン！」

ぶよ勝負後：

タルタル「はあつ、はあつ……逃げられちゃつたんだなあ。意外とすばしつこかつたんだなあ。

仕方ないんだなあ……プレゼントは別の物にするんだなあ」

♪第2話 VS おにおんく

ぶよ勝負前：

タルタル「プレゼントになるものを探すんだなあ」

??? 「オーンオン」

おにおん 「オンオオーン」

タルタル「この森でのあの子にプレゼントするものをを探すんだなあ。おまえ、知らないんだなあ？」

おにおん 「オニオーン」

タルタル「何々？ プレゼントはお花がいい？ それなら、あの子は喜びそなうなんだなあ」

おにおん 「オンオーン、オオンオン」

タルタル 「だけど、ここを通すつもりはないんだなあ？」

おにおん 「オンオン」

タルタル 「よーし、かかつてくるんだなあ！」

オイガふよ勝負で勝つたら、ここを通すんだなあ！」

おにおん 「オオンオオオーン！」

タルタル勝利：

タルタル 「あの子のプレゼントと比べれば、楽勝なんだなあ！」

おにおん勝利：

おにおん 「オーン、オオオーン」

ぶよ勝負後：

タルタル 「おっしゃー、勝ったんだなあ」

おにおん 「オーン……」

タルタル 「プレゼントになるのはここにはないって？ あーあ、無駄骨だつたんだ

なあ……ん？」

あ！ 向こうに誰かがいるんだなあ！」

おにおん 「オーン！ オンオーン！」

♪第3話 VSりすぐませんぱい♪

ふよ勝負前：

??? 「アイラブユー……愛というのは素晴らしい……」

タルタル 「愛？ もしかして、オイの相談に乗つてくれるんだなあ？」

りすくませんばい 「分かつた。では、君は今、何を悩んでいるんだ？」

タルタル 「オイは、あの子の事が好きでたまらないんだなあ……。

オイ、あの子に極上のプレゼントを贈りたいんだなあ……」

りすくませんばい 「ふむ……では、恋にまつわる花というのはどうだ？」

タルタル 「お花なら、女の子が喜ぶんだなあ。それにするんだなあ。

おまえ、それについて教えてくれないんだなあ？」

りすくませんばい 「どうも、君からは疑わしい臭いがぷんぷん漂う。ただで教える気  
は無いよ」

タルタル 「そんなこと言わずに、教えてほしいんだなあ！」

りすくませんばい 「では……私とのふよ勝負に勝てたら教えよう」

タルタル勝利：

タルタル 「オイの勝利なんだなあ。教えてほしいんだなあ」

りすくませんばい 「この程度では、まだまだだな」

ぶよ勝負後：

りすぐませんばい「流石だな。教える価値はある」

タルタル「それじやあ、教えてほしいんだなあ」

りすぐませんばい「フロウブルーメをプレゼントすればいい。

フロウブルーメの花言葉は『一途な想い』だからな」

タルタル「フロウブルーメ……覚えたんだなあ」

りすぐませんばい「……君はいい目をしているな。では、達者で」

タルタル「おまえこそ、ありがとうなんだなあ」

♪第4話 VSすけとうだらく

ぶよ勝負前：

タルタル「フロウブルーメはどこにあるんだなあ？」

???「へイへイへーイ！」

すけとうだら「俺様のダンスを見ていいかい？」

タルタル「ダンスより、お花を見たいんだなあ」

すけとうだら「花ア？ んなのいくらでもあるんだぜ？」

それより、ダンスは今しか見る事ができないんだぜ？」

花とダンス、どっちが価値があるか分かるだろ？」

## 6 もしも「タルタル」が出ていたら

タルタル 「うう……魚臭いんだなあ」  
すけとうだら 「誰が魚臭いだ、てめえ！ なんなら、ぶよ勝負でボコボコにしてやる  
か？」

タルタル 「望むところなんだなあ」

タルタル勝利：

タルタル 「何とか勝つたんだなあ」

すけとうだら勝利：

すけとうだら 「これに懲りたら、二度と俺様を馬鹿にするなよ？」

ぶよ勝負後：

タルタル 「あー、魚臭かつたんだなあ」

すけとうだら 「当たり前だ、俺様は魚だし……」

タルタル 「ああああ、このままじやあの子に……あの子に……」

すけとうだら 「あの子がどーしたんだよ？」

タルタル 「な、何でもないんだなあ！ さようならなんだなあ！」

すけとうだら 「あばよ」

第5話 VSリデル♪

ぶよ勝負前：

タルタル 「フロウブルーメ、フロウブルーメ……」

??? 「あ……」

リデル 「久しぶりですね、タルタル君」

タルタル 「久しぶりなんだなあ、リデル。ところで、リデルが持つてるその花……」

リデル 「え？」

タルタル 「フロウブルーメなんだなあ！」

リデル 「あ、はい。確かにそうですが……」

タルタル 「それをオイに渡すんだなあ！」

リデル 「きや！ いつから暴力的になつたんですか、タルタル君！」

タルタル 「そんなの、知つたこつちやないんだなあ！」

リデル 「ぼ、暴力で解決するくらいなら、ぶよ勝負でお願いします！」

タルタル勝利：

タルタル 「……大丈夫だつたんだなあ、リデル？」

リデル勝利：

リデル 「タルタル君……どうして……ぐすつ……」

ぶよ勝負後：

リデル 「ひ、酷いです。タルタル君、一体どうしちやつたんですか？」

## 8 もしも「タルタル」が出ていたら

タルタル 「それを見て、一瞬前が見えなくなっちゃったんだなあ。

すまなかつたんだなあ、リデル。それ、ほしいんだなあ」

リデル 「今のタルタル君は、私の知ってるタルタル君じやありません。

だから、フロウブルーメは渡せません」

タルタル 「そんなこと言わずにオイに渡s」

リデル 「それだからタルタル君は嫌われるんですよ！

もう少し、穏やかに言つてくれませんか？」

タルタル 「リデル……たくましくなつたんだなあ」

リデル 「え？ その……本当の事を言つただけですよ？」

タルタル 「それじやあ、改めて言うんだなあ。オイは、フロウブルーメがほしいんだ  
なあ」

リデル 「そう言つてくれれば、わたしは嬉しいです」

タルタル 「ありがとうなんだなあ」

♪第6話 VS シエゾ♪

ぷよ勝負前：

タルタル 「ンーフフーン♪」

??? 「む？ あの花は、恋にまつわるフロウブルーメ……！」

シェゾ「お前……が、ほしい！」

タルタル「んあー！ 変態なんだなあ！」

シェゾ「しまつたあ！ 『のフロウブルーム』を言い忘れた！」

タルタル「おまえが何を狙つていようと、これは渡さないんだなあ。

あの子にプレゼントするためなんだなあ」

シェゾ「ほう……お前は誰かに恋心を抱いているのか。

だが、俺はそいつを見るとつい邪魔したくなるんだよ！」

タルタル「つまり、オイの恋のライバルなんだなあ？」

シェゾ「違う！ 単に気になつただけだ！」

タルタル「恋のライバルは、今すぐ排除するんだなあ。オイとぷよ勝負するんだなあ

！」

シェゾ「仕方ないな。闇の剣と魔法に沈め！」

タルタル勝利：

タルタル「はあはあ……死守するんだなあ」

シェゾ勝利：

シェゾ「勝負あつたな。この花はいただくぞ」

ぷよ勝負後：

シェゾ「何だと!? こいつ意外とやるな……」

タルタル「オイは、あの子のためならたとえ火の中水の中、

そしておまえが放つ魔法の中なんだなあ」

シェゾ「一途だなあ」

タルタル「だ・か・ら、おまえのような変態が相手でも、オイは絶対に怯んだりしないんだなあ」

シェゾ「だから俺は変態じやねえ————!!」

♪第7話 VS さかな王子♪

ぷよ勝負前：

タルタル「ここを通れば、きっとあの子に会えるんだなあ！」

???「シヨコクマンユウノタビハ

さかな王子「キモチガヨイノウ」

タルタル「あ、おまえは……」

さかな王子「ソノハナ、モシカシテ、ヨヘノミツギモノカ?」

タルタル「全然違うんだなあ」

さかな王子「ドコガ『ゼンゼンチガウ』じゃ！」

ドウドウトモチアルイテイルシナモノハ、ヨヘノミツギモノノアカシデア

ル！」

タルタル「我儘すぎるんだなあ」

さかな王子「ドウシテモ、トイウノデアレバ、ヨトプヨシヨウブヲシテ、カツガヨイ  
！」

タルタル「分かつたんだなあ」

タルタル勝利：

タルタル「いくらおまえの身分が高くても、この花を渡すわけにはいかないんだなあ」  
さかな王子勝利：

さかな王子「ホレ、ヨノショウリジヤ！ サツサトソノハナヲミツグガヨイ！」

ぶよ勝負後：

さかな王子「ナカナカヤルナ……オヌシモワルヨノウ」

タルタル「だから、オイは悪人じやないんだなあ」

さかな王子「イイワスレタガ、ヨハオウジデアル。

オヌシヲ、サンショクヒルネサンポツキデ、シモベニシテヤルガ、イイナ

？」

タルタル「……とりあえず、逃げるんだなあ」

さかな王子「ア、オイ、マテ！ マタンカ!!」

♪第8話 VS ラフィーナ♪

ぶよ勝負前：

??? 「これで今日のトレーニングは終わり！」

タルタル 「見つけたんだなあ！」

ラフィーナ 「きやあーっ！ タルタル！」

タルタル 「ちち違うんだなあ！ プレゼントを渡しに、オイは来たんだなあ」

ラフィーナ 「嘘仰い！ 本当は私を捕まえるためでしよう？」

タルタル 「だから違うんだなあ！ しそうがない、ぶよ勝負で証明するんだなあ！」  
ラフィーナ 「ええ！ 望むところですわ！」

タルタル勝利：

タルタル 「おっしゃー！ ついにラフィーナに勝つたんだなあ！」

ラフィーナ勝利：

ラフィーナ 「やつぱり、あなたは変態ね」

ぶよ勝負後：

ラフィーナ 「つ、強い……なんて強さなの……」

タルタル 「さつきは誤解を招く行動をしてすまなかつたんだなあ。

今日は、おまえに渡したいものがあるんだなあ」

ラフィーナ「渡したいものがある……？」

タルタル「これなんだなあ」

ラフィーナ「まあ！ フロウブルーメじやない！」

タルタルにしては、なかなかいいものじやない！」

タルタル「喜んでくれてありがとうなんだなあ。

これで、オイとラフィーナは……フンフフーン♪」

タルタルは、ラフィーナが花言葉を受け取ったと思い、去つていった。

ラフィーナ「これを売れば、何ポイントになるのかしら？ 今度、質屋さんに持つて  
いきますわ」

しかし、ラフィーナは資金調達目的でその花を貰つたのだつた……。

もしも「ほほうどり」が出ていたら

（第1話 VS ナスグレイブ）

ぶよ勝負前：

ほほうどり「ほつほほーう！ 久々にここに来たから、気分がいいっス！

さて、この調子で今日もヒーロー修行に行くつスかね？」

??? 「ん？ テンションが高い声が聞こえるんだなあす！」

ほほうどり「ん？ その声はまさか怪人つスか？」

ナスグレイブ「誰が怪人だなあす！」

オレには『ナスグレイブ』っていうちゃんとした名前があるんだなあす

！

おまえこそ、一体誰だなあす？」

ほほうどり「ふつふつふ……聞いて驚くなつスよ。

オレつちは、このプリンプタウンを守る正義のヒーロー、ほほうどりつス

！」

ほほうどりが決めポーズを取る。

ナスグレイブ 「……どこがだなあす」

ほほうどり「なつ！ 騒がないつスか!?」

ナスグレイブ 「騒ぐわけないんだなあす。

おまえがヒーローの癖に全然活躍してないと思うからだなあす』

ぶよ勝負でコテンパンにしてやるつス!!」

ナスグレイブ勝利：

ナスグレイブ 「おまえはヒーローっていうよりも、オレみたいになればいいんだなあ

す

ほうどり勝利：

ほほうどり 「どうだ！ 参つたか！」 つス！」

ぶよ勝負後

ナスグレイブ  
「ばたんきゅう……」

ほほうどり 「オレっちを馬鹿にしたから、アンタはこうなつたつスよ？」

ナスグレイブ「そ、そんな事はない、と、思うんだ、なあす……」

ほほうどり 「まあ、これもヒーロー修行のために通る道つスからね。

この調子でどんどん進んでいくつス!』

ナスグレイブ 「……五月蠅いんだなあす……」  
第2話 V.S アルル ↴

ぷよ勝負前：

ほほうどり 「さあて、次は誰が相手つスかね？」

アルル 「あつ！」

ほほうどり 「ん？ 何か困つてるつスか？」

アルル 「ううん、ボクは何も困つてないよ」

ほほうどり 「そつか……なら、いいつスが」

アルル 「あつ、そういうえばキミ、初めて出会うね。キミの名前は何だつけ？」

ほほうどり 「オレつちはほほうどり！ 正義のヒーローつス！」

ほほうどり、決めポーズを取る。

アルル 「あはははは、何となくありがちくなポーズだよね。笑つちやうよ」

ほほうどり 「お嬢ちゃん、それはどういう意味つスか？」

アルル 「？ 何でもないよ？」

ほほうどり 「ほほう……んじや、オレつちの魅力を分かつてくれたつスね？」

アルル 「全然」

ほほうどり 「何いつ!? アンタまでオレつちを馬鹿にしたつスか!？」

アルル「馬鹿にしたつもりはないってば。ていうか、ボクまでつてどういう事?」  
ほほうどり「オレっちが正義のヒーローである事を、今からぶよ勝負で証明してやるつス!」

アルル「いきなりぶよ勝負を吹つ掛けられるなんてやだー!!」

アルル勝利：

アルル「まつたく、正当防衛くらいはさせてよね!」

ほほうどり勝利：

ほほうどり「この街には、オレっちを馬鹿にする奴しかいないつスか……?」  
ぶよ勝負後：

アルル「はあ、はあ、はあ……なんでいきなりぶよ勝負を吹つ掛けるの?」

ほほうどり「オレっちを馬鹿にしたつスから」

アルル「だからと言つて、いきなりぶよ勝負をするなんて全然ヒーローらしくないよ

！」

(ガーン、とほほうどりが固まる)

ほほうどり「か、母さん……どうして……」

アルル「あゝあ、今日は何もいい事がなかつた。帰つたらカレーを食べよつと」  
(すたすたとアルルは去つていく)

ほほうどり「……ヒーローって事を……証明したい、つス……」

第3話 VS ウィツチ

ぶよ勝負前：

ほほうどり「何としてでも、オレっちがヒーローである事をみんなに伝えたいつス  
……」

??? 「おいつす！」

ウイツチ「あら、ちようどいいところに派手な色の鳥がいましたわ」

ほほうどり「そ、それはどういう意味つスか？」

ウイツチ「わたくし、魔法薬を作つておりますの。

その材料を集めるためにあちこちを回つているんですよ」

ほほうどり「そ、そうつスか？」

ウイツチ「そんなわけで、材料を探そくと思うんですけど……」

ウイツチ、不敵な笑みを浮かべる。

ほほうどり「ま、まさか……！」

ウイツチ「貴方の尾羽を、魔法薬の材料にさせていただきます？」

ほほうどり「ぜ、絶対にダメつス！」

ウイツチ「逃がしませんわよ！」

ほほうどり 「ええい！ ふよ勝負をして、こいつを黙らせてやるつス!!」

ウイツチ勝利：

ウイツチ 「さあ、貴方の尾羽を分けなさい！」

ほほうどり勝利：

ほほうどり 「負けるわけにはいかなかつたつス！」

ふよ勝負後：

ほほうどり 「こ、この尾羽は、絶対に、渡さない、つス……」

ウイツチ 「必死ですわね。そんなに材料を渡したくないんですの？」

ほほうどり 「そうつスよ！ これはオレつちにとつて大事な部分つスから！」

ウイツチ 「それはわたくしにとつてもという意味でもありますけどねえ！」

ほほうどり 「オレつちとアンタじや意味が違うつス！ それじやあ退散つス!!」

ほほうどり、逃げる。

ウイツチ 「……まったく、素直ではありませんのね」

♪第4話 VSラフイーナ

ふよ勝負前：

ほほうどり 「まったく、どいつもこいつもオレつちの魅力を分かつてくれないつスね」

??? 「あら」

ラフィーナ 「久々に……いえ、初めてですか？　あなたと出会うのは……」

ほほうどり 「オ、オレっちの事を忘れたつスか!?」

ラフィーナ 「ええ」

ほほうどり 「な、何だつてえ!?」

ヒーローたるこのオレっちを忘れるとは失礼にもほどがあるつス！」

ラフィーナ 「全然失礼ではありませんわよ？」

事実、誰かさんもずくづく魔導学校を休んでるから忘れてしまいましたよ？」

ほほうどり 「オレっちはその誰かさんよりも物凄く魅力的つスよ！」

「それなのに……それなのに……それなのにいいいい!!」

ラフィーナ 「駄目ですわこいつ……。早く何とかしなければ……」

ほほうどり 「ぶよで勝負つスくくくく!!」

ラフィーナ 勝利：

ラフィーナ 「このままずつと忘れられてほしかつたですわ」

ほほうどり 勝利：

ほほうどり 「これで、オレっちの魅力が分かつたつスね？」

ぶよ勝負後：

ラフィーナ「まつたく、あなた鳥の癖に生意氣ですわよ！」

ほほうどり「鳥じやなくてヒーローっス！」

ラフィーナ「全然そうは見えませんでしたわ！」

ほほうどり「見えなくともヒーローはヒーローっス！」

ラフィーナ「五月蠅いですわね！ そんなあいつみたいな鳥がヒーローとは思えませ

んわよ！」

ほほうどり「もう知らないっス!! アンタには一生オレっちの事が分からないっスよ

!!」

ほほうどり、パンスカしながら去っていく。

ラフィーナ「……こんな迷惑鳥、私、嫌いですわ」

（第5話 VS まぐろ）

ぶよ勝負前：

ほほうどり「あー、ちょっと苛々したから、気分転換に歌でも歌うっス。

街一の谷間に潜む影一、ホツホーウ♪ ぶよぶよ消一して光る羽一、

ホツホーウ♪

悪一の野望に気付く時一、メガネキーラリとやつてくる！

進めピ・ン・クのほほどおり♪♪

??? 「おおつと」

まぐろ 「それはアニメソングかい？」

ほほうどり 「あつ、これはオレっちのテーマソングっス。聞いてくれたつスか？」

まぐろ 「うん★ なかなかいい歌だつたよ★」

ほほうどり 「おおー！ オレっち、褒められてチョー嬉しいつスー！」

まぐろ 「ははは★ ボクも、ヒーロー物は好きなのさ★」

ほほうどり 「お互い気が合うつスね！」

まぐろ 「そうだね★」

ほほうどり 「それじやあ、その印にアンタと……」

まぐろ 「ふよ勝負★ だね★」

まぐろ 勝利：

まぐろ 「この勝負、どうやらボクが勝つたみたいだね★」

ほほうどり 勝利：

ほほうどり 「この勝負、オレっちの勝利つス！」

ふよ勝負後：

ほほうどり 「あく、楽しかつたつス！ こんなふよ勝負はチョー久々つス！」

まぐろ 「いや、初めてじやないかな？」

ほほうどり 「オレっち、アンタのおかげで元気になれたつス！」

まぐろ 「それはよかつたね★」

ほほうどり 「それじやあ、さよならつス！ また会える日を楽しみにしてるつス！」

まぐろ 「バイバイ★」

まぐろ、去っていく。

ほほうどり 「……あつ、名前を聞き忘れたつス。サインも忘れちゃつたつス……」

♪第6話 VS シエゾ♪

ぷよ勝負前：

ほほうどり 「さあくつて、元気になつたつスから、この調子でどんどん進んでいくつス！」

??? 「む？」

シエゾ 「誰だ、お前は？」

ほほうどり 「オレっちは、この街を守る正義のヒーロー、ほほうどりつス！」

シエゾ 「そうか。なら俺は悪の怪人という事か」

ほほうどり 「そういう事つス！ アンタの相手は、このオレっちつス！」

さあ、悪の怪人よ！ この正義の羽の前に散るつスよ！」

シエゾ 「断る」

ほほうどり 「な、何故つスか!?

シエゾ「お前、はつきり言つてうざいんだよ。」

声はでかいし態度もでかい……だから、お前はハブられたんだよ』

スか!?

シエゾ「だから、それを人のせいにするなよ」

ほほうどり もう許さないつス！

ハブられた恨みを、  
ぶよ勝負で晴らしてやるっス〜〜〜!!

シエゾ勝利：

シエツ一闇の劍の前に散つた……な

ほうどり勝利

ほほうどりーどうだ！ オレづちの勝ちづス！」

ふよ勝負後：

ほほうとり「オレっち  
カツエE!!」

ショソ一まつたく勝つだからこていちいちボーリスを取るんじやねえよ

それだからお前はハナられたんだ

ほほうどり 「負けた癖に偉そうな口を叩くなつス！」

シェゾ「……まあいい、ここは通してやろう。」

「言つておくが、このままの調子ではいつか痛い目に遭うからな」

「ほほうどり「……？」 どういう事つスか？」

♪第7話 VS レムレス♪

「ぶよ勝負前：

「ほほうどり「よし！ やる気がどんどん出てきたつスよ！」

「??? 「あつ」

レムレス「こ、こんなところに人がいたんだね」

「ほほうどり「一体どうしたつス？ なんか、困った様子つスね」

レムレス「実は僕、この先にいる変な人に変なものを飲まされちゃつて……」  
「ほほうどり「ほほう……ならヒーローたるこの……」

レムレス「あつ、だからと言つて僕をボコボコにしちゃダメだよ」

「ほほうどり「ほ、ほほう……」

レムレス「……でも、君に先に進める資格はあるのかな？」

「ほほうどり「当然つスよ？」

レムレス「じゃあ、僕とぶよ勝負をして、勝つたらここを通してあげるよ」

「ほほうどり「な、なんかありがちな展開つスが……まあ、全力で相手をするつスよ！」

レムレス 「望むところだ!!」

レムレス勝利：

レムレス 「まだまだ君は修行が足りないね」

ほほうどり勝利：

ほほうどり 「どうだ！ 勝つたつスよ！」

ふよ勝負後：

ほほうどり 「どうだ！ オレっちの勝ちつス～！」

レムレス 「よく頑張ったね。……ふふふ」

ほほうどり 「何がおかしいつス？」

レムレス 「実は僕、変なものを飲んだんだけど、実のところ体に異常はなかつたんだよね」

ほほうどり 「だから、全力で戦えたつスか……」

に  
レムレス 「そんな僕に勝てたなんて、君、凄いじやないか。お世辞じやなくて、本当

ほほうどり 「えつ、そうつスか？」

レムレス 「だつて、他の人には……おつと！ ここから先は何も言わないでおこう。

それじゃあ、またね！」

レムレス、去つていく。

ほほうどり 「……いよいよこの先に、ラスボスがいるつスか。くく！ 楽しみつス！」

くく!!

♪第8話 VSゴゴット♪

ぶよ勝負前：

ほほうどり 「さあ、覚悟するつスよ！ ラスボス！」

??? 「ヨ〜〜〜」

ゴゴット 「ボクがラスボスつて事でいいかな？」

ほほうどり 「ア、アンタがラスボスつスか……？」

ゴゴット 「キミがそう思うならそれでいいヨ」

ほほうどり 「言つておくつスが、さつきの男に変なものを飲ませたのはアンタつスね

？」

ゴゴット 「そうだけド、それがどうかしたネ？」

ほほうどり 「ありがとうつス！ これでアンタとマジで戦う事ができるつス！」

なんて言つたつて、オレつちは正義のヒーローつスから！」

ゴゴット 「正義のヒーロー……そうネ……そうネ？」

ほほうどり 「??」

ゴゴット「ならば、ボクも悪の大魔王として、マジでキミと相手をするネ!!」

ほほうどり「よ～っし！ レツツ？」

ゴゴット「ぶよ勝負ネ～～!!」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「悪の大魔王が勝つちやつたネ！」

ほほうどり勝利：

ほほうどり「正義は必ず勝つスよ！」

ぶよ勝負後：

ほほうどり「オレっち、カツコE！」

ほほうどり、「ポーズを取る。

ゴゴット「ム、ムネン……」

突然、拍手が巻き起ころ。

ほほうどり「い、一体何が起こつたつスか？」

アミティ「パチパチパチパチ～！」

アルル「いい劇だつたよ！」

ほほうどり「げ、劇……？」

りんご「実は、貴方が今まで進んできた道は、私達が観戦していた舞台の上だつたん

（この文は、元々は「ほほうどり」の台詞ですが、ここでは「ほほうどり」が出ていない）

です」

ほほうどり 「どういう事つスか?」

アルル「ボク、サタンに頼み込んだんだよ。

キミがあまりにも可哀想すぎるから、この舞台を用意して、つてね』

ほほうどり 「え……じゃあ、オレっちの活躍は……」

アミティ「よかつたじやない！ ラスボスをやつつける事ができて！」

ほほうどり 「……」

りんご 「あれ……なんか、顔が変……」

ほほうどり 「……よくも、よくもオレつちを、騙してくれたつスね……」

りんご「わ、私達は何も騙していません！ それはサタンという人に言うべきです！」

ほほうどり 「許さないつスよ〜〜〜〜〜!!」

アミティ「うわ～、ほほうどりが怒つちやつた！」

アルル「大丈夫、アミティ。ボクと一緒に……」

ほほうどり 「ホホウ・ダイナミ...」

アミティ&アルル「ばつよえ〜ん!!!」

ほほうどり ピヨヒヽヽヽヽヽヽヽ!!

ほほうどり、吹つ飛ばされて星になる。

りんご 「あ～あ、星になつちゃつたみたいだね」  
アミティ 「というわけで、ほほうどりが主役の劇は  
アルル 「これにて閉幕！」

もしも「ゴゴット」が出ていたら

♪第1話 VSおにおんく

ぶよ勝負前：

ゴゴット「今日、凄い薬を作ろうと思つてるヨ！　薬を作るのが生き甲斐だからネ！」

???「オーン？」

おにおん「オーンオオーン！」

ゴゴット「おつと、おにおん発見ネ！」

早速だけど、まずはキミの皮を剥いて薬の材料にしたいネ！」

おにおん「オン!?　オオーン、オン、オンオオンン！」

ゴゴット「材料になりたくないのネ？」

おにおん「オーン！」

ゴゴット「でも、嫌よ嫌よも好きのうち、つていう言葉もあるヨ？」

さあ、遠慮しないで薬の材料になるネ!!」

おにおん「オーン、オーン、オオオオーン!!」

おにおん勝利：

おにおん 「オン、オン、オオン、オーン！」

ゴゴット勝利：

ゴゴット 「さくで、皮を今剥いてあげるね……」

ふよ勝負後：

おにおん 「オンオンオンオンオーン!!」

ゴゴット 「わ、わ、うわあー！ 痛いね！」

おにおん 「オーーーーン!!」

おにおんが金棒でゴゴットを殴り、その隙におにおんが逃げていく。

ゴゴット 「あゝあ、逃げられちゃつたみたいね。」

追いかけたいんだけど、また反撃されたら困るね……。

だから、久しぶりにナーエの森から外に出る事にしたね！

日の光は苦手なんだけド、頑張つて出なくちやね……」

第2話 VSリデル

ふよ勝負前：

ゴゴット 「まずは、森の入り口に着いたネ。ここにいるのは誰かナ？」

??? 「あ、あの、その……」

リデル 「わたしに、何の用ですか？」

ゴゴット「おつと！ 可愛い女の子発見ネ！」

リデル「わ、可愛い、ですか？ 嬉しいです……」

ゴゴット「ふつふつふう。じゃあ、可愛い女の子には、これをあげるネ!!」

ゴゴットは、どこから怪しい薬を出す。

リデル「なんですか、これは……」

ゴゴット「体にいい薬だヨ？」

リデル「しかも何か、ゴポゴポ言つてますし……。飲んだら、吐き気がしそう……」

ゴゴット「つべこべ言わずにさつさと飲むネ！」

リデル「り、理由もなく飲ませるのならば、わたしも理由もなくぶよ勝負します!!」

リデル勝利：

リデル「あの薬を飲まされてしまつたら……うう、想像しただけでぞつとします……」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「大丈夫ネ、毒は抜いてるヨ？」

ぶよ勝負後：

ゴゴット「さあ、この薬を……」

リデル「の、飲みません、ごめんなさい！」

リデルは逃げていった。

ゴゴット「また逃げられたネ……。せっかく作ったのに、もつたいないネ。

薬草をたくさん調合して作った、体にいい薬なのに……。

でも、決してめげるつもりはないネ！」

この薬を受け取ってくれる人を探さなきやネ!!」

♪第3話 VS どんぐりガエル♪

ふよ勝負前：

ゴゴット「さて、この先にいるのは誰かナ？」

どんぐりガエル「ケロツ」

ゴゴット「おおー！ どんぐりガエルネ！」

どんぐりガエル「ゲコー!?」

ゴゴット「キミ、一緒に行かないかナ？」

どんぐりガエル「……ケロツ？」

ゴゴット「薬の材料探しだヨ。……あれ？ どうしたノ？ そんなに震えて、何が怖いネ？」

どんぐりガエル「ケロケロケロケロケロ！」

ゴゴット「まさか、また逃げるつもりネ!? そうはいかないネ！」

ふよ勝負をして、連れて行つてやるネ!!」

どんぐりガエル勝利：

どんぐりガエル「ケローツ、ケロケロケロケロ」

ゴゴツト勝利：

ゴゴツト「大人しく捕まつた方が身のためネ」

ぶよ勝負後：

ゴゴツト「さうて、これからどうしようかな？……よし、ちょっと材料を貰うネ」

ゴゴツトは、どんぐりガエルの体の一部を貰つた。

ゴゴツト「これで材料を1つ手に入れたネ。」

さあ、ナーエの森の外にある材料は、一体どんなものなのかな!?」

＼第4話 VSラフイーナ

ぶよ勝負前：

ゴゴツト「さて、外に出たのはいいけれど、誰がそこにいるのかな？」

ラフイーナ「あ」

ゴゴツト「あ」

ラフイーナ「あなた、もしかして……以前、森で私に変な薬を飲ませようとした奴ですの？」

ゴゴツト「し、知らないヨ？」

ラフィーナ「とぼけたつて無駄ですわ！ 私は知つておりますのよ。

あなたが変な場所から、変な薬を出した事をね！」

ゴゴット「違うネ！ アレは健康に……」

ラフィーナ「ほーら、ボロが出ましたわよ！」

さあ覺悟なさい、この私がボツコボコにして差し上げてもよろしくってよ

!!

ゴゴット「ボ、ボツコボコにされるわけにはいかないネ！ いざ、  
ラフィーナ勝利：

ラフィーナ「この私に変なものを飲ませようたつてそうはいきませんわよ！」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「健康のために薬を作ったのに、なんで受け取らないんだネ？」

ぶよ勝負後：

ラフィーナ「二度と私に変なものを飲ませるな！ ……ですわ！」

ラフィーナは去つていつた。

ゴゴット「あー、残念ネ……せつかく薬を用意していたのに、飲まないなんて……。

やつぱり、人間つてこんなのがしかいないのかナ？ でも、諦めないネ！

この薬の良さを、人間達に分かつてほしいんだヨ!!」

第5話 VSりんご

前負勝よよぶ

ゴゴツト「さて、次の人は……」

「あつ、そこにはいるのは……」

りんご 「浅黒い肌をした黒妖精みたいな人！」

ゴゴツト「黒妖精……？」  
違うネ!  
ゴゴツトつていうんだネ!」

りんご 「あ、貴方はゴゴツトつていうんですか

ゴゴット「ところで、ちょっといいものがあるんだけど、見てみるね?」

りんご  
「いいもの?」

ゴゴツト「ほら、この葉ネ！」

ゴゴツトは、深緑色の液体が入つた葉をりんごに見せた。

りんご 「な、何これ!?

ゴゴツト「体こいい薬草をたつぶり使つた、ゴゴツトお手製の薬ネ！」さあ、飲め飲

二  
一

りんご 「じゃ、じゃあ、ちよつとだけ……」

りんご、ゴゴットの薬を飲む。

りんご 「苦――――――つ!!」

ゴゴット「どうしたネ?!」

りんご「あ、貴方の作った薬は、こんなにも苦かつたんですか?!」

ゴゴット「リヨーヤクは口に苦しつて言うね。この薬は体にいいヨ?」  
りんご「あまりにも苦すぎるために不快な気持ちになりました！　ふよ勝負で晴らします!!」

ゴゴット「うわっ、そんなの理不尽ネ!!」

りんご勝利：

りんご「私が作った野菜ジュースで、この苦みを打ち消さなくては」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「な、何とか追い払えたネ……」

ふよ勝負後：

りんご「あ、苦かった……」

ゴゴット「それでも、キミの健康のためだと思えばいいんだヨ?」

りんご「確かに健康には良かつたですが、そればかりではつまらないのも明確です」

ゴゴット「キミは若いからネ」

りんご「それでも、貴重な体験になりました。本当にありがとうございます」

ゴゴット「おおつ！」

りんご「ココットさんも、これからもいい薬をたくさん作ってくださいね！」

ゴゴット「ハッイ！」

(りんご) 去っていく

ゴゴット「……っていうか、名前は正しくは、『ゴゴット』なんだけどね……」

♪第6話 VSルルー♪

ふよ勝負前：

ゴゴット「さくて、次は誰に薬を振る舞いたいね？」

??? 「あくら」

ルルー「この<sup>わたくし</sup>私に、何の用ですか？」

ゴゴット「えっと、これを見てほしいね」

ルルー「??」

(ゴゴット、薬を見せる)

ルルー「まあ！ 随分と独創的な薬ですわね。それ、美味しいんですの？」

ゴゴット「試しに飲んでみるといいネ」

ルルー「ええ、分かりましたわ」

ルルー、ゴゴットの薬を飲む。

ルルー「甘いですね。これは何ですか？」

ゴゴット「これは、アマアマキノコっていうキノコを使つたとつても甘い薬ネ」

ルルー「まあ！ それはいい味ですわね。……もつとありませんの？」

ゴゴット「あんまり飲み過ぎると、だるくて動けなくなつちやうヨ？」

だから、ほんの少しだけにしておくネ」

ルルー「……それじやあ、だるくて動けなくなる前に……」

ゴゴット「え？」

ルルー「私わたくしとぶよ勝負ですわ！」

ゴゴット「えへへへへへへつ!?」

ルルー勝利：

ルルー「おーっほつほつほつほつ！ 今日は調子がいいですわ！」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「お、女つて怖いネ……」

ふよ勝負後：

ルルー「くつ！ この私が負けるなんて……。認めません！ 認めませんわ！」

ゴゴット「……どうせこの薬が目当てつて事は、明らかだつたみたいネ」

ルルー「え、ええ……。なんか、もつと飲みたくなつて……」

ゴゴット「ダメネ！ 薬の飲み過ぎは体に毒ネ！ さあ、さつさと帰るネ！」

ルルー 「……分かりましたわよ！ 納得いきませんけど……」  
 ルルーは、不貞腐れて去つていった。

ゴゴット 「はあ……。薬売りも大変ネ……」

♪第7話 VSエコロ♪

ぶよ勝負前：

ゴゴット 「さあて、次の客は誰だネ？」

??? 「やあ」

エコロ 「僕に何の用？」

ゴゴット 「あ、薬を売りに来たんだヨ」

エコロ 「えへ、薬かへ。いいものはあるかな？」

ゴゴット 「ほらほら、これを見るネ」

ゴゴットは、エコロに赤い薬を見せる。

エコロ 「何？ これは」

ゴゴット 「飲んでみたのお楽しみネ」

エコロ 「じゃあ、飲もうかな？」

エコロは、ゴゴットの薬を飲んだ。

エコロ 「うわっ！ とつても美味しいね。これ、何の成分でできてるんだい？」

ゴゴット 「乾燥させて毒を抜いたトリカブトと、ドクダミと、ヨモギと、明日葉と、  
それから朝鮮人參と……」

エコロ 「あ～つ、もう！ 君の話は長いよ！ ふよ勝負をしていいかな？」  
ゴゴット 「ま、またみたいネ！ もう、迎え撃つしかないネ!!」

エコロ勝利：

エコロ 「とつても楽しいふよ勝負だったよ」

ゴゴット勝利：

ゴゴット 「どうして、みんな好戦的ネ？」

ゴゴット勝負後：

エコロ 「あはははは、負けちゃつた！」

ゴゴット 「……」

エコロ 「それじやあ、またね～。楽しかったよ」

エコロ、去っていく。

ゴゴット 「……変な奴だつたネ。こんな奴も、森の外にはいたんだネ。

……井の中の蛙大海を知らずとは、この事を言うのかナ？」

第8話 VS ウイツチ

ふよ勝負前：

ゴゴット 「薬ももう少なくなつてきたね。今日はこれで店じまいかな?」

??? 「あら」

ウイツチ 「こんなところに変な人がおりますわ」

ゴゴット 「変なとは失礼な! こう見えても、薬売りなんだヨ!」

ウイツチ 「薬売り? あら……」

ゴゴット 「どうしたネ?」

ウイツチ 「わたくしも薬を売つておりますわ。貴方と同じですわね」

ゴゴット 「そうみたいネ」

ウイツチ 「……ああ、貴方を見ているだけで、ライバル心が沸き上がりましたわ」

ゴゴット 「ライバル心?」

ウイツチ 「いいですこと? 本物の薬売りはこのわたくしですわよ!」

ゴゴット 「本業を譲るわけにはいかないネ!」

ウイツチ 「ならば……」

ゴゴット 「いざ!」

ウイツチ 「ふよ勝負ですわ!!」

ウイツチ 勝利 :

ウイツチ 「薬売りの座は、わたくしがいただきましてよ!」

ゴゴット勝利：

ゴゴット「ついに、薬売りに勝利したネ！」

ぶよ勝負後：

ゴゴット「……キミの薬、効果がありそうネ」

ウイツチ「貴方も薬も、効果がありそうですわ」

ゴゴット「それじやあ、また今度出会つたら、一緒に薬を作ろうネ！」

ウイツチ「ええ！ 当然ですわ！」

ゴゴット「あーっはははははネ！」

ウイツチ「おーっほほほほほほ！」

ゴゴット、ナーエの森に戻る。

ゴゴット「さくて、そろそろ薬を作る時間ネ」

ゴゴット、手に入れた材料を鍋の中に入れる。

ゴゴット「さあ、薬を作る時間ネ!!」

鍋に火がつく。数分後、物凄い爆発が……。

ゴゴット「ハ、ハリヤホレビレハリエ……。だ、大失敗だつたネ……。

でも、薬作りに失敗はつきものだよネ？」